

佐久市教育大綱 基本理念、目指す子ども像・市民像について

文部科学省 第4期教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)におけるポイント

1 コンセプト

持続可能な社会の創り手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる ● 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成
日本社会に根差したウェルビーイングの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上 ● 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的、一体的に育む

2 基本的な方針

- (1) グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- (2) 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- (3) 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- (4) 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- (5) 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

長野県 第4次長野県教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)のポイント

1 目指す姿

個人と社会のウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

2 政策

- 政策の柱1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる
- 政策の柱2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- 政策の柱3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる
- 政策の柱4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

新たな教育大綱の基本理念、目指す子ども像・市民像

基本理念

【現状】 「生涯にわたり主体的・創造的に学び、
生きる力を育む人づくり、まちづくり」

目指す子ども像

【現状】 「自ら考え、夢と志をもって、ともに未来を拓く子ども」

目指す市民像

【現状】 「生涯にわたり学び、互いに支え合い、輝き続ける市民」